

【件名】中野駅新北口駅前地区における基盤整備の進捗状況について

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

中野駅新北口駅前地区で整備するペDESTロリアンデッキ及び駅前広場等の基盤施設については、独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）、東日本旅客鉄道株式会社及び囲町東地区市街地再開発組合への委託により、今年度から随時、工事に着手していく。

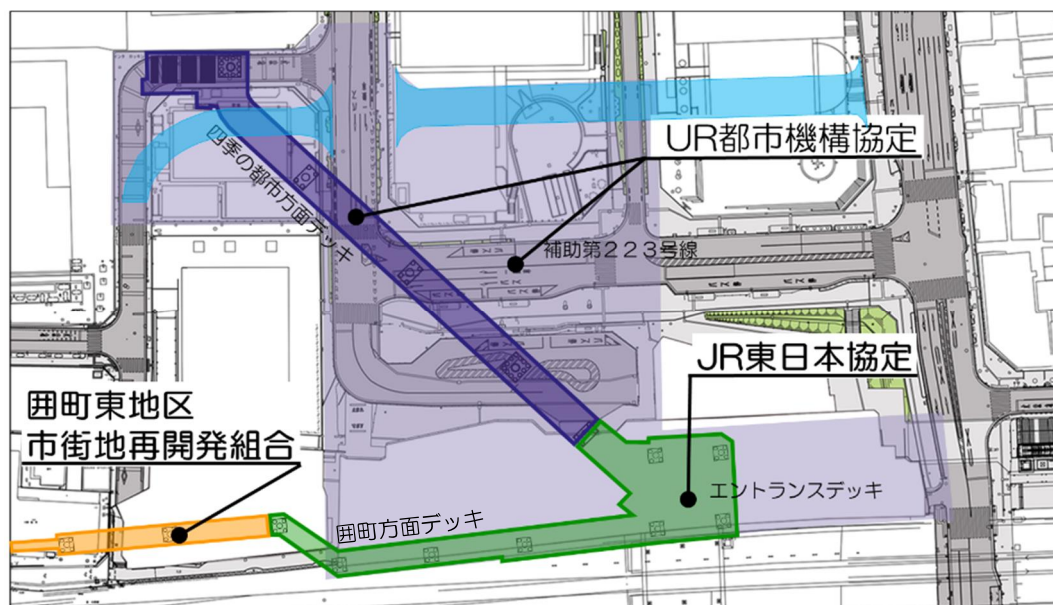
今回、これら整備に向けた進捗状況について以下のとおり報告する。

1. ペDESTロリアンデッキ等の協定事業について

JR東日本との協定事業で工事を施行するペDESTロリアンデッキ（エントランスデッキ等、図中の緑着色部）のうち、桁製作や基礎工事の一部（鋼管杭打設まで）については、6月中を目途に先行して協定を締結し工事に着手する予定である。なお、後続となる本体工事等については、10月を目途に協定を締結する予定である。

また、四季の都市方面デッキ等の駅前広場の工事は、実施設計に続きUR都市機構へ工事の施行を協定に基づき委託する予定である。このうち前記のデッキ部（図中の紫着色部）に関する協定については、10月を目途に締結する予定である。

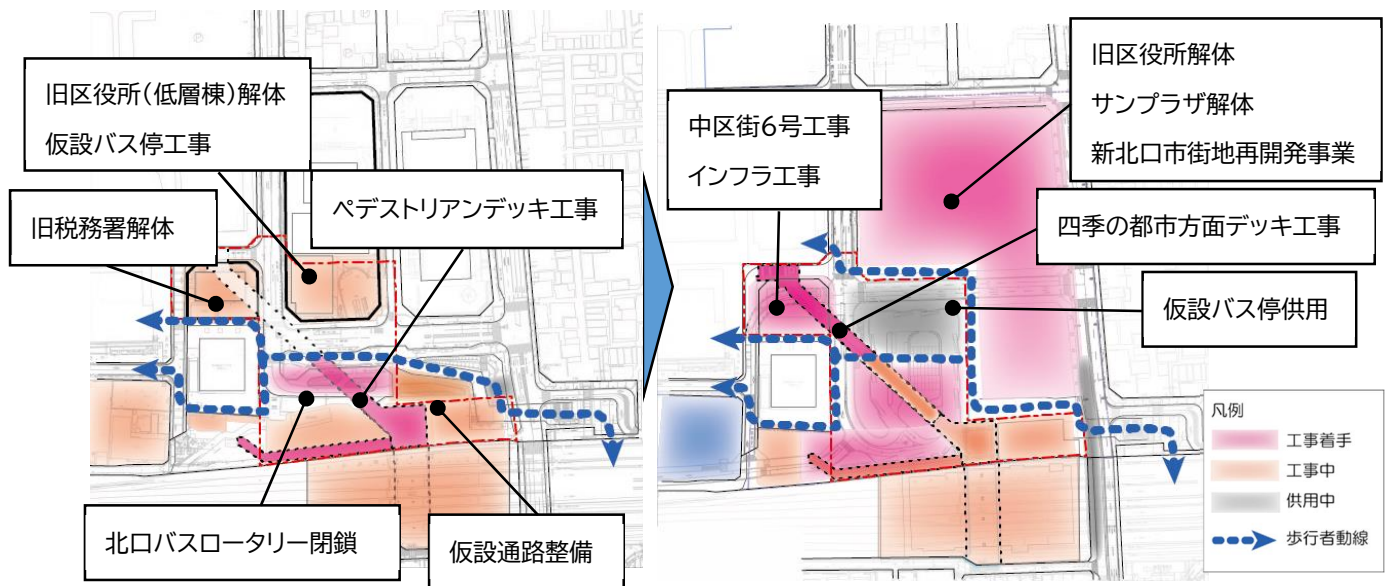
協定事業範囲図



2. 仮設バス停について

旧区役所低層棟跡地における仮設バス停は令和7年度に運用開始予定である。一方、上記のペDESTリアンデッキ整備のうち、仮設バス停と東西連絡路を繋ぐ仮設通路に近接する下部工は、仮設通路整備に先行して整備する必要がある。このため、仮設バス停整備に先立ち、現北口バスロータリー内のバス停（2か所）を旧区役所庁舎前の道路上に再配置する。

施行展開図（令和6～7年度）



3. 旧中野税務署及び旧区役所低層棟の解体に係る説明会の開催報告

旧中野税務署及び旧区役所低層棟については、土地区画整理事業施行者のUR都市機構が、6月から仮囲いを設置し、解体工事に着手することから、解体工事に係る説明会を開催した。

- 開催日時：令和6年5月31日（金） 19：00～20：30
令和6年6月2日（日） 14：00～15：30
- 開催場所：中野区役所（新庁舎）6階603～605会議室
- 説明内容：中野駅新北口駅前広場の整備に伴う旧中野税務署及び旧区役所低層棟の解体について
- 参加人数：第1回 14名
第2回 4名

4. 今後の予定

令和6年度	旧区役所解体、仮設バス停整備工事 旧中野税務署解体、仮設通路整備 ペDESTリアンデッキ工事着手
令和7年度	旧中野税務署跡地インフラ移設工事、仮設バス停運用開始 仮設通路運用開始
令和8年度	中野駅新北口改札開業
令和11年度	中野駅新北口交通広場供用開始